

※下線は、区民等意見により修正を加えた箇所

「杉並区性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」骨子（修正後）

1 目的

この条例は、杉並区（以下「区」という。）において性の多様性が尊重される地域社会の実現を図るため、基本理念、性を理由とする差別等の禁止、区、区民及び事業者の責務並びにパートナーシップ制度その他の区が実施する性の多様性が尊重される地域社会の実現に関する施策の基本的事項について定め、もって全ての区民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会の実現に資することを目的とします。

2 定義

この条例において、以下のとおり用語の意義を定めます。

- 性的指向 自己の恋愛又は性愛の対象となる性別についての指向をいう。
- 性自認 自己の性別についての認識をいう。
- パートナーシップ関係 双方又はいずれか一方が性的指向が異性に限らない者又は性自認が出生時に判定された性別と一致しない者であり、互いを人生のパートナーとして、相互の人権を尊重し、継続的に協力し合い、共同生活を営むことを約した2者間の関係をいう。
- パートナーシップ制度 第9条に定めるところにより、区長がパートナーシップ関係にある者からの届出を受理したことを証明する制度をいう。
- 区民 区内に住み、働き、又は学ぶ人をいう。
- 事業者 区内において、事業活動を行うものをいう。

3 基本理念

性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進は、性的指向又は性自認を内心にとどめることを希望する者の平穏な生活の確保に配慮しつつ、全ての区民が、性を理由とする差別等を受けないこと、性の多様性をめぐる個人としての尊厳が重んぜられること及び性別、性的指向、性自認等にかかわらず、自らの意思によって地域社会のあらゆる分野における活動に参画し、能力を発揮する機会が確保されることを旨として、行われなければなりません。

4 性を理由とする差別等の禁止

- 何人も、性を理由として不当な差別的取扱いをすることその他の性を理由として個人の権利利益を不当に侵害する行為をしてはなりません。
- 何人も、正当な理由なく、本人の意に反して、性的指向若しくは性自認の表明を強制し、若しくは禁止し、又は性的指向若しくは性自認を明らかにしてはなりません。

5 区の責務

区は、基本理念にのっとり、区民、事業者、国及び他の地方公共団体その他の関係機関等との連携を図りつつ、性の多様性が尊重される地域社会の実現に関する施策を実施する責務を有します。

6 区民の責務

区民は、性の多様性について理解を深めるとともに、区が実施する性の多様性が尊重される地域社会の実現に関する施策に協力するよう努めるものとします。

7 事業者の責務

事業者は、性の多様性について理解を深め、その事業活動を行うに当たっては、性を理由とする差別等の防止を図る等性の多様性に配慮するよう努めるとともに、区が実施する性の多様性が尊重される地域社会の実現に関する施策に協力するよう努めるものとします。

8 相談体制の整備等

- 区は、区民からの性を理由とする差別等に関する相談に的確に応ずるため、必要な体制の整備を図るものとします。
- 区民は、性を理由とする差別等について、区長に対し、苦情の申出をすることができます。
- 区長は、上記の規定により苦情の申出を受けたときは、適切かつ迅速に処理するものとします。

9 パートナーシップ制度

- パートナーシップ関係にある者であって、規則で定める要件を満たす者は、規則で定めるところにより、これらの者がパートナーシップ関係にある旨を区長に届け出ることができます。
- 区長は、上記の届出があったときは、規則で定めるところにより、当該届出を受理したことを証する書面を交付するものとします。
- 上記の届出をした者であって、当該届出を受理したことを証するカードの交付を受けようとする者は、規則で定めるところにより、区長に申請することができます。
- 区長は、上記の申請があったときは、規則で定めるところにより、申請をした者に対し、同項のカードを交付するものとします。
- 区は、区が実施する施策等において、パートナーシップ関係にある区民が安心して暮らすことができる地域社会の実現を目的とするパートナーシップ制度の趣旨を十分に尊重し、適切に対応するものとします。ただし、法令等の規定により実施する施策等においては、この限りではありません。
- 上記に定めるもののほか、パートナーシップ制度に関して必要な事項は、規則で定めます。

10 啓発活動

区は、性の多様性に関する区民及び事業者の理解を深めるよう、広報その他の啓発活動を行うものとします。

11 条例の施行日

令和5年4月1日に施行します。

なお、パートナーシップ制度については、本条例の公布の日から起算して2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行します。

12 その他の条例改正

杉並区事務手数料条例（平成12年杉並区条例第24号）等、必要な条例については併せて条例改正を行う予定です。